

市民クラブ会報

since 1983



**市民クラブ
会長挨拶**
鈴木 真人

私たち市民クラブは、中野祐介市長が掲げるオール浜松での「元気なまち・浜松」を共に実現させていきたいと考えております。そのため、2026年度に向け、多文化共生社会、インクルーシブ社会、男女共同参画社会、こどもまんなか社会をさらに推進し、希望あふれる浜松市の未来に向けて、市域全体を見据え、生活の安全安心と活力ある発展をめざし、広く市民が「ウェルビーイング」を感じられるために積極的な政策提言をして参ります。

2026年度の市政運営に対する政策提言

「ものづくりのまち浜松」の地域経済や社会を、根底から支えている勤労者をはじめとする市民の声や意見を、具体的な施策や予算に反映して頂きたいとの想いから、2026年度の市政運営に対する政策提言を行いました。



地 域交通・生活の足

高齢者の免許返納や若者に魅力あるまちづくりのために、既存の公共交通手段にとらわれず、路線バスと共存するAIオンデマンド乗合タクシーなど様々な情報を収集し、新たなモビリティを含めた公共交通計画を早期に策定すること。

サ ーラグリーンアクア

サーラグリーンアクアについては、再建か別活用かの方向性を早期に決断し、次の時代につなぐ明確な方針を示すことで、市民の理解を深めること。



系 統用蓄電池

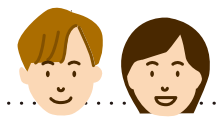
再生可能エネルギーの弱点克服に向け系統用蓄電池の整備は必要だが、危険性などの市民理解が進んでいないことを鑑み、市内設置する場合の要件などを整理し、条例化などを検討すること。→昨年12月にはガイドラインが策定されました。

部 活動の地域展開について

2026年9月からの中学部活動の地域展開に向け、ガイドラインが公表されたが、進めていく中で浮き彫りになった問題点に対し、早急な対応ができる体制整備と課題となっている指導員の確保を、全庁あげて取り組むこと。

若 者政策

実態調査に基づいた大学生を含めた若者政策を実現するために、大学生を中心とした若者政策を進める部署を新設し、大学生のネットワーク構築などを進め、大学生の市内への就職・居住を促進すること。



駅 南地区について

行政による基盤整備とともに、民間投資を積極的に呼び込む戦略が不可欠です。スタートアップ支援拠点、交流拠点など、民間が参画しやすい環境づくりを進めてほしい。また、地域の資産を活用したPPP(官民連携)モデルの導入も検討すること。

若 年層の人材確保

市外の若者が本市企業への就職を希望するIターン、また、市外へ進学した学生がUターンを考えるきっかけとなるような、中小企業の良さも含めて地元企業をより知る機会を提供すること。



政策提言の詳細はこちら

本議会で代表・一般質問

鈴木 真人

Q 学校においてこどもの権利について理解が必須とされているが、その取り組み状況は。

A こどもの権利の理解について、「静岡県人権教育の手引き」も活用し、各学校の社会科などでの指導、教職員の人権教育研修に加え、今後保護者などには学校便りやブログなどを通じた発信を行っていく。

北野谷 富子

Q 米飯提供方法をアルミパック米飯からより安価なクラス別配缶へ見直す考えはないか。

A 本市はアルミバック米飯の高コストが副食費を圧迫しているため、課題を調整しつつクラス別配缶への段階的見直しを進め、スピード感を持った見直しを図る。



斉藤 晴明

Q 生徒指導・いじめ対応・不登校支援をより丁寧に行うために、生徒指導加配の拡充をすべき。

A 来年度の国の概算要求では「小学校の生徒指導担当教師の配置拡充」が示されており、その動向を踏まえつつ、小学校の加配実現に取り組み、質の高い教育の実現に繋げていく。



岩田 邦泰

Q 本市施策に助言を頂く8人のフェローについて、活動や活用状況に対する考えを伺う。

A 現在はデジタル施策に関する活用にとどまっている現状があり、市政全体に最大限活かし切れているとは言い難い反省点がある。今後は庁内全体に新たな需要を掘り起こして活用していく。

石津 陽子

Q 公園の使用禁止遊具の今後についての説明責任追及。改修予定等の表示改善をすべき。

A ハザード3判定遊具429基の対策を2027年度末までに完了予定で、SNS等でより具体的な情報提供に努めていく。現地案内板は2027年度末までの対策完了を目指している等のわかりやすい表示に改めていく。

花井 洋介

代表質問予定
3月6日(金) 11時頃から

Q ・スポーツ文化都市はままつ
・スポーツによる地域活性化
・部活動の地域展開
・CN※実現に向けた取り組み
・道の駅構想
※ カーボンニュートラル

大城 七瀬

一般質問予定
3月9日(月) 11時頃から

Q ・生理用品の設置
・マンション防災
・中心市街地活性化
・女性のがん検診
・公共FM

かたちになりました

一般社団法人こどもアドボカシーセンター浜松と連携し、児童養護施設等における意見表明等支援事業に必要な意見表明等支援員(アドボケイト)の養成が行われました。



街路樹や植栽など緑に関するロードマップ管理計画が策定されました。

休眠楽器の利活用として、修理した管楽器を活用して、貸し出しや小学校での体験教室が実施されました。

同報無線の内容をHPにて即時確認が出来るようになりました。



中学部活動の地域展開に対し、学校だけではなく市民部含め全庁あげて取り組む事を提言し、ガイドライン(案)が作成されました。